



高井戸東小学校

10月号
No. 587

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/takaidohigashisyou/> TEL 03-3304-5711

できることをしっかりと

副校長 久保 知己

■ 2学期が始まって1か月。セミの声が減り、ヒガンバナが咲き、キンモクセイの香りが漂い、季節の流れを感じます。暑さを感じる日も少なくなり、体育学習発表会に向けての練習も進みました。同時に緊急事態宣言の延長に伴って、改めて感染症拡大防止のための高東小の約束やルールを確認し、安全に過ごすための行動に学校中で取り組んできました。10月1日に緊急事態宣言は解除されますが、感染症対策を再度見直し、できることをしっかりと続けていきます。ご家庭にも、毎日の検温や健康観察表の記入、不織布マスクの着用など継続してご協力いただいているところです。

■ 9月15日(水)に、3年生の社会科見学の区内巡りで児童を引率する機会がありました。公共交通機関を使用しない校外学習は実施するということで実現した区内巡りでしたが、一昨年までとはだいぶ様相が違っていました。以前ならある程度決まったコースがあったのですが、コロナ禍の中では約80人を受け入れてくれる施設がほとんどありませんでした。今後の学



習や行事の予定を考えると時期をずらすこともできませんでした。そこで、3年生の担任は、実施方法を工夫し、主にバスの中から街

の様子を学習するという形にしました。受け入れていただいた2か所(井草八幡宮、阿佐ヶ谷パールセンター)でだけバスを降りました。

子供たちも状況をよく理解しているので、学校からバスに乗るまでの道やバスの中、見学場所でのおしゃべりがほとんどありません。しゃべりたい気持ちをぐっと抑え、真剣に学習しようとする姿には感心しました。例年とは違う区内巡りでしたが、歴史を感じ、商店街の雰囲気を楽しむ、杉並の街の様子や街道、鉄道について学ぶことができましたようです。

■ 先日、放課後の時間を使って、不審者侵入時の対応についての教員研修を行いました。3人の高井戸警察の方が講師となり、対応の際の注意点や役割分担の解説、さすまたを使った実技訓練など、多くのことを学びました。この研修は毎年行っているのですが、安全のために毎年行うことの重要性を再確認することができました。10月の避難訓練は、不審者侵入を想定した訓練となります。

■ 9月21日から30日までが秋の交通安全運動期間でした。学校でも登下校時の歩き方や自転車の乗り方についての注意を続けています。ご家庭でも、時折通学路をお子さんと一緒に歩いて、危ない場所を確認して、何に注意を払うべきか繰り返し話してください。

10月の目標

- ☆あきらめずに取り組もう
- ☆交通安全に気をつけよう

(生活指導目標)
(安全目標)

生活指導委員会

さわやかな秋の風が心地よく、過ごしやすい日が増えてきました。子供たちは、日々の学習や体育学習発表会に向けて「あきらめずに取り組もう」と頑張っています。しかし、急に涼しくなると、夏の疲れが出るなど体調を崩しやすい時期でもあります。感染症対策だけでなく、適切な衣類の選択、十分な休養など、家庭での配慮をお

願い致します。

また、暗くなるのが早くなり、事故や怪我の危険も増える時期です。特に夕暮れ時は、ドライバーにとって歩行者が見づらくなる時間帯です。自転車に乗る時にはヘルメットを着用し、夜間はライトを早めに点けるなど、交通事故に合わないよう気を付けて生活しましょう。

体育学習発表会に向けて

委員長

吹く風もさわやかな秋晴れの日が続いております。子供たちは感染症対策に気を配りながらも、友達と楽しく学校生活を過ごす日々が続いています。

さて、新学期が始まって約1か月経ちました。子供たちが楽しみにしている体育学習発表会が近付いています。今年度も昨年度に引き続き、感染症対策として学年ごとに校庭に出てきて発表を行う形となりました。1学期からの体育で学習してきた内容や改めて2学期から取り組んだ学習を基に、各学年趣向をこらして、子供たちが元気よく体を動かしている姿をお見せできればと思います。子供たちが互いに見合えるよう、今年は2学年ずつ校庭に出ます。他学年の学習発表内容は動画を教室で見られるようにします。

発表内容は「徒競走」「団体競技・演技」です。「徒競走」では、1年生が40m走、2～6年生が50m走を走ります。運動会ではないので、順位を決めるわけではありませんが、タイムが近い友達と一緒に、負けまいと必死に走る姿をご覧ください。

いつも元気な子供たちにも疲れが出てくることと思います。本番に備えて、十分な睡眠やきちんとした食生活を意識するなど、体調を整えられるようご協力をお願いします。

合わせまして、今年度も感染症対策における参観の仕方にご注意ください。まず、来場門を正門、退場門を南門として一方通行とさせていただきます。正門に入られる際には、先日本配りしました学年カラーのシールを名札に貼付してご来校ください。(兄弟がいる場合には、複数枚貼付)そして、当該児童の保護者は決められた場所(徒競走は青いラインの外側・団体は赤いラインより外側)で参観していただき、登り棒前から正門側サッカーゴール裏にかけては、次学年の保護者が待機する場としております。他にもいくつか注意点がございますので、先日本配布した手紙をよくお読みいただき、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

高井戸東小の ICT 関連について

ICT 担当

GIGA スクール構想に伴い、校内の ICT に関する状況も着実に変化しています。いろいろと変わっていることが多いので、改めて、現在の高井戸東小学校の ICT に関する情報を簡単に整理してお伝えいたします。

1 タブレット PC の持ち帰りについて

- ・3～6年生はタブレット PC を毎日持ち帰り、1、2年生は学校保管です。
- ・タブレット PC のケースは、各ご家庭で用意していただいています。
- ・各個人に渡しているタブレット PC は、現段階では、そのまま次の学年でも使用する予定です。

2 欠席・遅刻・早退の連絡方法について(Forms)

- ・保護者の方の携帯、PC 等から欠席、遅刻、早退の連絡ができるようになりました。
- ・配信メールに添付した URL か、配布プリントの QR コードからアクセスしていただいています。
- ・朝8時まで、欠席、遅刻等の送信を済ませていただいています。

3 情報教育について

- ・「情報リテラシー・情報モラル・プログラミング」という3つの柱で、学年ごとに計画を立てています。
- ・Teams は、どの学年でも使用できるようにしています。(オンラインホームルーム等)
- ・ロイロノートも、どの学年でも使用できるようにしていきます。(意見交換、情報共有等)
- ・タイピングは、ローマ字の学習と合わせて3年生から本格的に指導を開始しています。
- ・プログラミング教育では、キューベット、ルート、スクラッチを基本的に使用していますが、学習内容と教材は更に検討を重ねています。

4 ICT 関連の今後について

- ・杉並区では、AI ドリル (Navima) が導入されました。本校では10月から活用していく予定です。
- ・配布プリントのオンライン配信を検討しています (Microsoft SharePoint)。
- ・オンライン授業や AI ドリル等、ICT に関する研修を教員間で着実に進めています。

「共に育つ」 特別支援教育 特別支援教育コーディネーター

「障害者の権利に関する条約」「障害者差別解消法」等により、この 15 年ほどの間に学校でも障害のある子供が他の子供と平等に教育を受けるインクルーシブ教育の実施が進んできました。社会的障壁の除去として、環境整備を初めとする「合理的配慮」は、学校だけでなく社会全体で推進されてきています。つまり、子供たちが生きていくこれからの時代は、個人の様々な苦手さや偏りを矯正させるのではなく、その多様性を理解し、共に補い合いながらよさを生かしていく時代だということです。

本校では、これまで特別支援教育充実のため、①通級指導教室(たかひがし教室)の活用②学習支援が必要な児童への個別の取り出し指導③校内特別支援委員会を中心とした支援策の協議④教職員の研修に取り組んできました。今年度は、「教師自身が子供たちの発達を理解し、多様な個を包含した学級づくりを実現していく」ために、4月の新学級スタートの前に「学級開きの研修」や、学級満足度調査 QU の WEB 版である WEBQU の研修と実施、そして集団としての子供同士の繋がりを深めるための TAP(玉川アドベンチャープログラム)の研修、心理学や社会学の視点からのいじめ防止研修等様々な研修を実施してきました。また、通級指導対象児童にしか作成されないことが多い個別指導計画を、「日常何らかの支援が必要な児童」にも対象を広げ作成し、保護者の方と目標や支援策を共有することを本格的に取り組み始めました。これらの取組を今後さらに成熟させ、高東小の特別支援教育のスタンダードとして実施していくことを目指していきたいと思えます。

様々な友達と関わる中で、友達の個性を受け止め、批判したりするのではなく、お互い補い合いながら自己を調整し学び合うことは、学校でしかできない学びであり、これからの社会で生きていくために必要不可欠な力です。2学期の保健指導では、4年生に「ふつうってなんだろう」という題材で多様性理解の指導を実施しました。自分の「ふつう」を誰かに押し付けていないか、そのようにされて傷ついたことや困ったことはないかを考える場面では、自分事として真剣に考え発言する姿が見られました。多くの人と違うことで何かを言われ傷ついた体験を伝えてくれる場面もありました。目に見える身体的障害がある人は理解しようとしても、目に見えない困難を抱えた身近な友達の理解をしようとしているのか。「ふつう」というのは多数決で決まるのか。そのようなことを考えていきました。このような取組を積み上げながら、障害の有無にかかわらず、自分とは違う感じ方、考え方、学び方をする友達を尊重し、共に支え生きる姿勢や学校風土を養っていくことが、特別支援教育の推進において最も大切なことだと考えています。

特別支援教室（たかひがし教室）とは 特別支援教育コーディネーター

たかひがし教室は、コミュニケーションや気持ちのコントロール、読み書き等の苦手な児童が個別や小集団の授業を通して学ぶ教室です。毎週1回木曜日に、拠点校(永福小)から巡回指導の教員8名が高井戸東小に来て指導しています。たかひがし教室では、ゲームの活動を通して友達と適切なコミュニケーションを学んだり、気持ちを相手に伝える方法の練習や体幹バランスを整える運動を学んだりと様々な授業を行っています。

入級するためには、WISC(発達)検査結果等の入級書類を提出いただき、年2回実施している校内の判定会議にかける必要があります。たかひがし教室は学習フォローの教室ではないため、知的遅れが見られる場合は対象外となります。衝動的に行動してしまう、気持ちのコントロールが苦手、表現が上手くできない、友達と関係を築きにくい等がある場合、手立てをとらずに集団生活をしていると、自己肯定感や学習意欲が低下してしまうことがあります(二次障害)。低学年のうちに、自分の苦手と上手く付き合う方法、得意を生かす方法を身に付けていくことで、できることが増えたり肯定的に自分を捉えられるようになっていきます。ご興味のある方は、早めに担任や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

< 10月の行事予定 >

日	月	火	水	木	金	土
					1 都民の日 通常登校日	2 体育学習発表会
3	4 振替休業日	5 昼会	6 午前授業 東っこなし PTA交通安全教室 自転車講習会	7 避難訓練 富士学園説明会 5年保護者	8 安全指導	9
10	11 出前授業6年 生活科見学2年 品川水族館	12 口腔保健指導6年 ※給食費引き落とし日	13 (クラブ活動)	14 午前授業	15	16 学校運営協議会
17	18 昼会 生活科校外学習2年 柏の宮公園	19	20 (委員会活動)	21	22 午前授業 東っこなし 研究授業6年 6年のみ5時間授業	23
24	25 (異学年昼会)	26 午前授業 東っこなし	27 箏体験①4年 (クラブ活動)	28 (保育園交流2年)	29 箏体験②4年	30
31		就学時検診				

() はコロナ対応により変更になる可能性があります。

□・・・四角で囲まれた日にはスクールカウンセラー来校日 (月・木)

< お知らせ・お願い >



学校運営協議会の委員の方に、毎月2回程度、校内の消毒をお願いしています。児童がよく触れるところや児童机を重点的に拭いてくださっています。

また、体育学習発表会と学習発表会でも、教員だけでは人数が足りないところの役割を担ってもらう予定です。

ありがとうございます。

10月の学校運営協議会(CS会議)

10月16日(土) 9時00分

家庭科室

今回も、感染症拡大防止のため、傍聴は中止とさせていただきます。

緊急事態宣言下では活動を見合わせていた、「朝運動」「放課後ロング遊び」「ビレスク」などについて、再開が決定された場合にはメール等でお知らせいたします。